

シュー・リー・チェン来日スペシャルトーク <SF・ニュー・クイア・シネマ>の実践！(仮)



日時：2023年11月3日（金） 15:00 -17:00

会場：桑原商店（東京都品川区西五反田2-29-2）

主催：ノーマルスクリーン | 協力：桑原商店、四方幸子

出演：シュー・リー・チェン、秋田祥（ノーマルスクリーン）、四方幸子（エコゾファー）

入場料：1,500円（ワンドリンク付）\*当日先着30名様／日英通訳付

80-90年代にNYでメディアアクティビズムやビデオアートに関わって以来、メディアアート/アクティビズムの先陣を切ってきたシュー・リー・チェンが、新作映画『UKI』\*を携えて来日！現在パリを拠点にする彼女が、これまで深く関わり変化と発展を見つめてきたメディアアートとクイアアート/映画について、とりわけ彼女が標榜する<SF・ニュー・クイア・シネマ>をめぐるお話をうかがいます。

シュー・リー・チェン（Shu Lea Cheang）：ジェンダー・ベンディング&ハッキングをアートの実践として展開するメディアアーティスト、映画監督。《BRANDON》（1998-99、NYグッゲンハイム美術館初のウェブ委嘱・収蔵作品）で、ネットアートのパイオニアとして注目され、2019年の第58回ヴェネチア・ビエンナーレでは、台湾代表としてメディア・インスタレーション《3x3x6》を発表するなど、世界各地で先鋭的な活動を長年展開。<SF・ニュー・クイア・シネマ>という独自のジャンルを築き、『フレッシュ・キル』（1994）、『I.K.U.』（2000）、『FLUIDø』（2017）を発表。最新作『UKI』（2023）は、LASアート財団（ベルリン）、ポンピドゥーセンター（パリ）、MoMA（NY）、ICA（ロンドン）、台北市立美術館などでプレミア上映が行われ大きな反響を得た。現在 Hope, Techno-humanities（イタリア）と Attention After Technology（ノルウェー）で展示中。<http://mauvaiscontact.info>

---

[シュー・リー・チェン最新作『UKI』（2023/80分）上映スケジュール]

11月1日@アップリンク京都

11月4日@アップリンク吉祥寺

